

## アジア政経学会 2010年度第1回理事会 議事録

1. 日時 2010年4月10日(土) 15:00~18:20
2. 会場 東京大学(本郷キャンパス)東洋文化研究所 3階第一会議室
3. 理事総数 24名
4. 出席者 15名(浅野、大橋、梶谷、金子、木曾、佐藤、高橋、高原、竹中、谷垣、田村、深川、松田、丸川)
5. 委任状提出 8名(家近、加藤、巖、高、澤田、玉田、唐、山本)
6. 出席者合計 23名
7. 議長 高原理事長
8. 議事

(ア) 定刻に、高原理事長が議長席に着き開会。まず、総務担当・園田理事より本日の出席者は23名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、園田氏、松田氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

(イ) 前回(2009年12月5日)理事会議事録の確認を行った。

### 議案1 2010年度活動計画案とその承認

園田理事(総務担当)より、2010年度の活動計画案をもとに報告が行われ、これを承認した。

### 議案2 2009年度決算報告とその承認

梶谷理事(財務担当)より報告が行われ、審議の結果、これを承認した。

### 議案3 2010年度予算案とその承認

梶谷理事(財務担当)より報告・説明がなされ、審議の結果、一部修正の上、これを承認した。

### 議案4 会費割引に関する年齢資格について

梶谷理事(財務担当)より割引適用に設けられた年齢条件をわかりやすく再検討すべきではないかと提案があり、次回理事会で審議を続けることになった。

### 議案5 海外在住会員の会費支払い(Paypal)について

梶谷理事(財務担当)よりPaypalの停止と学会ウェブサイトの関連事項の削除について提案があり、澤田理事(広報担当)から、お茶の水学術事業会にその旨連

絡を取ることで承認された。

- 議案6 東日本大会（5月22日、於：北海道大学）の準備状況について  
東日本研究担当兼研究企画委員会主任の竹中理事より準備状況に関する報告と説明が行われ、プログラム（日本語と英語版）をホームページに掲載することが承認された。
- 議案7 西日本大会（6月12日、於：京都大学）の準備状況について  
西日本研究担当理事である巖理事が欠席のため、研究企画委員会主任の竹中理事が代って報告提案について説明を行った。
- 議案8 全国大会（東京大学駒場キャンパス）の準備状況について  
全国大会実行委員長である谷垣理事より、全国大会における共通論題、国際シンポジウム、特別分科会、経費などについての説明が行われた。また、高原理事長より来年度の大会場所について報告が行われた。来年度は東日本大会が獨協大学、西日本大会が九州大学箱崎キャンパス、全国大会が同志社大学で開催される予定である。
- 議案9 定例研究会の設置について  
金子副理事長より、定例研究会の再開について提案が行われた。田村理事より全国から参加ができるように、交通費の補助の提案があり、支出する方向で考えていくことで承認された。事前にペーパーまたは資料提出を義務付けてはどの提案がされ、7月スタートを目指し、ホームページに情報を掲載することで了解された。
- 議案10 学会賞の運営委員会について  
優秀論文賞担当の深川理事より、現在のホームページに会員からの推薦を受け付ける旨の文章を入れることとし、従来通り、合計7名の選考委員で選考する旨報告があった。
- 議案11 『アジア研究』の編集状況について  
高橋理事（前編集担当）より、掲載可能な論文の数が少ないことから、第56巻第1・2号合併号として2010年5月中旬に発行予定であることが報告され承認された。また大橋理事（現編集担当）から、今年度の編集委員会の体制について報告があった。

議案 12 公益法人制度改革について

高橋理事（公益法人制度改革担当）と田村理事（公益法人制度改革担当）より、対応には専門知識が必要であるとの報告説明がされ、今後、どの法人形態をとるのがよいかも含め、継続審議することとした。

議案 13 ホームページの改定・ニューズレターの編集について

丸川理事（ニューズレター担当）より、退会者名などをホームページに載せることは個人情報になるのではとの問合せがあったことが報告され、審議の結果、従来通りとすることで承認された。

議案 14 名簿作成について

園田理事（総務担当）より、お茶の水学術事業会から名簿が総務担当事務局に送付されているため各理事に2冊渡したい旨、報告された。

議案 15 会員のメールアドレスを用いた情報提供の可否について

園田理事（総務担当）より説明がされ、情報の良否を判断するコストが高すぎるため、当面これを認めないことで承認された。

議案 16 会費納入について（夫婦別姓・休会についての規定など）

園田理事（総務担当）より、次回理事会までに規定を作成することで了解された。

議案 17 共同利用・共同研究拠点の認定について

園田理事（総務担当）より、愛知大学から推薦状を受けたことへの感謝のメッセージがあったことが報告された。

議案 18 筑波大学図書館からの学会誌の著作権アンケート依頼について

園田理事（総務担当）より、標記の依頼があり、現状に即した回答をした旨報告があった。

議案 19 外務省の立入検査について

園田理事（総務担当）より、外務省アジア大洋州局中国・モンゴル課から事務官2名が立ち入り検査のために来訪、高原理事長、園田理事（総務担当）、丸川理事が立会い、これが無事終了したことが報告された。

議案 20 法務局への役員変更届について

園田理事（総務担当）より、4月5日に役員変更届を東京法務局に提出し、終了

したことが報告された。

#### 議案 21 入退会者について

梶谷理事（財務担当）より、再三の連絡にも返信のない 2006 年度の会員については自動的に退会扱いとすることが提案され、若干の修正ののち、基本的にこれが承認された。

<新入会> 福田繁、廖婉婷、谷村真、木野賢治、邵永裕、于海春、サムパオヌエン・グンティダー、松田春香、佐藤創、重富真一、林鴻亦、岡部純一、金子治平、中西嘉宏、間永次郎、林幸司（再入会）

<退会者> 豊田由貴夫、和田義郎、佐藤幸夫、李相泫、桐生稔、姫田光義、根無喜一、大木昌、金向東、中村建一、木俣由美、立原繁、鈴木英夫、連宜萍、渡辺葉子、中井英基、渋谷由紀、宇佐美滋

<逝去> 儀我壯一郎、柴田巖、安藤彦太郎

<休会> 佐藤和美、岩間一弘

<優待申請> なし

#### その他

①園田理事より、本日欠席の澤田理事（広報担当）に代わって、優待会員への身分変更の通知手続きにつき、提案が行われた。理事会承認後、総務担当から身分変更について、すみやかにニューズレター担当、お茶の水学会に連絡をし、お茶の水学会から会員当人に直接結果をお知らせするという内容であり、審議の結果、承認された。

②次回理事会は 5 月 22 日（土）12 時 30 分から、東日本大会（於：北海道大学）にて開催予定である。

以 上

高原理事長が午後 18 時 20 分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成 22 年 4 月 10 日

特例財団法人アジア政経学会

議長

高原 明生



議事録署名人

松田 承博



議事録署名人

園田 茂人

